

## 常陸大宮大使に西武ライオンズ一軍投手コーチ 豊田清さん

埼玉西武ライオンズ一軍投手コーチ・豊田清さんに5月1日付けで常陸大宮大使に就任いただきました。



### ○豊田 清さん プロフィール○

1992年ドラフト会議にて西武ライオンズから3位指名を受け、入団。2002シーズンにパ・リーグ歴代1位（当時）になる38セーブを記録。2003シーズンにプロ野球史上15人目となる100セーブを達成、2年連続の最優秀救援投手賞を受賞。現在、西武ライオンズ一軍投手コーチを務める。

常陸大宮市においては、平成19年から市内野球教室での指導、平成21年からの市野球連盟と冠大会「豊田清杯」の共催などを行っている。

### 豊田さんからのコメント

常陸大宮市のみなさま、こんにちは。埼玉西武ライオンズの豊田清です。私はこれまで常陸大宮市において、小中学生向けの野球教室や、私の名前を銘打った少年少女野球大会の実施など、野球人としての経験を生かした野球振興に関わる活動を実施させて頂いており、そのご縁もあって、このたび常陸大宮市の大使をオファーいただき、就任にいたしました。少しでも常陸大宮市の盛り上げに貢献できるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



▲市内野球教室にて指導する豊田さん

## 「奥久慈なす」が県の銘柄産地に指定



銘柄産地指定制度は、茨城県が生産地の生産体制や品質などの実績を評価して育成・指定するもので、「奥久慈なす」は、今回で3回目の指定となりました。

奥久慈なすは、寒暖の差が大きい地域の特性を生かし、実が締まり、皮が柔らかく、色の濃いなすとして、市場等からも高い評価を受けています。昨年は、98戸の生産者が約214tを出荷しました。萩庭部会長は、「今後とも、品質の向上に向け、各地域の会員と力を合わせ、また、関係機関と連携して、新規栽培者の確保等、銘柄産地として、さらなる躍進をしていきたい」と抱負を述べていました。

「奥久慈なす」とは…

県北・県央部の5市町（常陸大宮市、大子町、那珂市、常陸太田市、ひたちなか市）の各JA常陸なす部会で栽培され、市場へ出荷されたなすのことを指します。